



▼インターハイに出場し健闘した梅本祥太競技者（和田内区・九州学院高3年）



インターハイに出場し活躍

本町出身の2競技者が健闘

7月30日（水）～8月3日（日）、山梨県を主会場に開催された平成26年度全国高等学校総合体育大会の陸上競技において、梅本祥太競技者（和田内区・九州学院高3年）が3,000m障害走に、境慎太郎競技者（上豊内区・熊本中央高3年）が5,000m障害走に出場し健闘しました。梅本競技者は、6月12日（木）～15日（日）沖縄県で開催された南九州高校陸上競技大会の3,000m障害走に出場し、9分15秒85で3位に入賞。インターハイでは9分25秒26で予選敗退。同競技者は「予選突破できず悔しかったのですが、次の大会を目指し合宿などががんばりたいです」と述べました。

境競技者も南九州高校陸上競技大会の5,000m障害走に出場し、22分6秒99のタイムで見事優勝。インターハイでは決勝に残るも、22分48秒49で13位に終わりました。また同競技者は、県教育委員会が選定した「東京五輪強化選手」に選ばれています。

第1分団第4部が第3位

第30回県消防操法大会で岩下地区が活躍

8月3日（日）人吉市で、第30回県消防操法大会が開催され、町消防団（上野浩信団長512人）第1分団（池田実分団長）第4部（岩下地区）が第3位に入賞しました。

同大会は、県内消防団の消防技術の向上と団員の意識啓発を目的として、県と県消防協会が主催。第1分団第4部は3月の町大会のポンプ車の部で優勝し、7月の郡大会で4チーム出場の中、優勝。県大会でも日ごろの訓練の成果を発揮して、見事第3位に入賞しました。



▲ポンプ車の部第3位に輝いた第1分団第4部の選手



◀町総合保健福祉センターでの法律・行政・人権相談

悩みは抱えこまず相談を

毎月第1月曜日に法律相談を開催

町では、毎月第1月曜日に町総合保健福祉センターで、法律・行政・人権相談を開催しています。町民の生活の中で抱える法律に関わる相談や町行政に対する要望、いじめや体罰などの人権に関する相談について、弁護士、行政相談員、人権擁護委員、民生・児童委員の相談員が受け付けています。相談員たちは「悩みがあるならば1人で悩まず、思い切って相談してほしい」と呼び掛けました。相談時間は午前9時から正午まで。開催日が祝日の場合は、翌日に開催しています。相談された内容は堅く守られますので、お気軽にご相談ください。